



Compass 2017 羅針盤

2017.9.12(火)

室蘭市小学校
外国語活動
巡回指導教諭
みなと小 相馬和俊

No. 26



一外国語活動の校内研修・研究授業を通して深める一

地球岬小の研究授業・校内研修

● 研究授業（全校参観授業）〔9月11日（月）実施〕

前期兼務校3つ目の研究授業は、地球岬小です。5年生の吉村学級に公開していただきました。吉村先生には、7月の研究所研修講座にも参加していただきましたが、いつもバイタリティのある外国語活動の授業をされます。活動の指示を全体にしていたかと思えば、教室の右に左に個別支援に動いています。この指導の切替・フットワークのよさは外国語活動の授業において担任の先生方に求められる指導力の一つと言えます。この日は、ALTのアシィ先生とのTTで、Hi, friends! 1 Lesson 7 What's this? 1/4時間目の授業を公開していただきました。

■ 主な展開（言語活動）

- ① プレイン・ストーミング ……新しい語彙の導入場面です。数的にはかなり多くの単語が登場します。
- ② Let's Chant ……リズムに合わせて、この単元のキー・センテンス“What's this?”を練習します。
- ③ キー・ワード・ゲーム ……新出語彙の練習です。キー・ワード・ゲームは、英語の「音」を聞くことに重きを置いた活動、ミッシング・ゲーム ……「なくなったカード」を考えるので、そこに「意味」が加わると言うことができます。

アシィ先生とのTT授業をイメージしての指導案作成や事前の打ち合わせなど、吉村先生には大変熱心に取り組んでいただきました。この日も、アシィ先生とうまく役割分担をしながら授業展開をされていました。放課後の事後研では、先生方がグループに分かれ、「単元の1時間目の授業として」という視点で熱心な協議が行われました。3年生からの外国語活動スタートも見据え、先生方の関心も高まってきていることを強く感じました。

平成29年度 グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修（in 苫小牧）

9月20日（水）21日（木）と11月9日（木）の3日間、苫小牧市において標記の研修会（胆振管内）が開催されます。これは、昨年度からの4年間で管内全小学校から各1名の先生方に参加していただき、英語教育指導力ならびに英語運用能力にかかわる研修を行うものです。（同様の研修が、北海道の各管内はもとより全国各地で行われています。）具体的な内容としては、「英語教育推進リーダー中央研修」の内容を8項目14時間で先生方に伝達する研修となっています。（基本形は全国共通です。）また、研修に参加いただいた先生方には、学校や地域に戻られましてから、ご自身の実践を通して指導スキル等を広めていただくという、伝播型の「カスケード研修」となっているのが特徴です。もちろんこの研修内容が、これからの小学校外国語教育のすべてを網羅したものではありませんが、5・6年生の外国語ならびに3・4年生の外国語活動実施に向けて、大変重要な要素が入っていることは下記資料からお分かりいただけると思います。内容が3日間を通して「英語だけ」というのは少し抵抗があるかもしれませんが、1校1回の限られた機会です。有意義な研修となるよう、私もしっかり準備をして臨みたいと思います。

- 1. 教室英語（英語力 1時間）
- 2. 絵本の活用（教授法 2時間）
- 3. 単語や表現の学習（教授法 3時間）
- 4. ALTとの打ち合わせ（英語力 1時間）
- 5. 歌の活用（教授法 2時間）
- 6. アルファベットの音（言語知識/教授法 2時間）
- 7. 授業指導案の作成（英語力 2時間）
- 8. 他教科等と関連した内容を取り入れた活動(教授法 1時間)



8項目14時間の研修内容については、各校の校内研修等で活用できるように、平成26年度の中央研修や参加者のインタビューのダイジェスト版(各項目約20分)DVDが作成され、各校に1本ずつ配布されています。(みなと小は3階教材庫の棚にありました!) 活用方法としては、校内研修等で視聴したり、個人的に関心のある項目を視聴したりすることが期待されます。1項目の時間がそれほど長くないので、一度見てみてはいかがでしょうか。